

## 平成 27 年度飯田市起業家ビジネスプランコンペティションについて

産業経済部金融政策課

**1 本事業の実施目的**

特色ある有望な起業計画を持つ起業家を全国に公募し、これに対して飯田市内の経済団体や行政が一丸となって市内での起業と成長をサポートする体制を提供することで、実効性が高く魅力ある起業・新事業創出の支援策を強く打ち出し、地域での新たな需要と雇用、さらに人の流れの創出につなげ、地域産業の活性化に貢献する。

**2 実施の概況**

## (1) 本年度の特色

- ア 応募案件の熟度を高めるため、本事業を飯田商工会議所経営相談所との連携事業とし、公募を開始した7月初旬に同所と共催で起業セミナーを開催（参加者約 50 人）。また、応募の際には同所経営指導員による個別指導を受けることを応募条件とした。
- イ 応募者全員に対し、「起業家ビジネスプラン審査会」での委員の助言や評価内容を個別かつ丁寧に説明することで、落選しても起業計画を更に磨き込めるようにした。また、引き続き経営指導員による継続的かつ個別的な支援体制も整備した。
- ウ 応募者全員に対し、金融政策課主催により、商議所経営相談所及び地域の全金融機関の起業融資担当者を集めた合同面接会の場を提供（参加は任意）、全員に資金調達及び起業の道が拓けるようにすることで、上記と併せて一貫した起業支援体制を構築した。
- エ 28 年 1 月に大賞受賞者への授賞式と記者会見、2 月中旬には最終審査に残った 3 人をパネラーとする公開イベント「起業家フェスタ」を実施。事業内容を公表できる場を提供した。

## (2) 応募の概況

- ア 公募期間 平成 27 年 7 月 1 日から同年 9 月 30 日まで
- イ 応募総数 11 件（うち飯田市民 9 件、下伊那郡居住者 2 件）

## (3) 審査の概況

- ア 飯田市起業家発掘事業実施要綱に基づき、公的金融機関職員、公認会計士、税理士、会社代表者、産業センターコーディネーター及び飯田市職員が構成する審査会を設置。
- イ 1 次で書面審査、2 次で本人によるプレゼンテーション審査（通過 6 件）、3 次で個別面接審査（通過 3 件）を行い、大賞、特別賞、奨励賞を各 1 件ずつ決定。
- ウ 実施要綱に基づき大賞受賞者に起業奨励金 300 万円の交付を決定。年度末までに交付手続を完了する見込みである。特別賞及び奨励賞は次点とし、表彰状のみ交付。

**3 受賞案件の概要****(1) 大賞** 自然保育・森のようちえん事業～自然保育のつばら～（木下孝子さん）

「こどもを真ん中に、こどもを信じて待つ保育」という理念の下、子供の自主性と地域の様々な人々とのかかわりを重視しつつ、屋外保育経験のある保育士が保育時間の多くを屋外活動に充てる新しい保育の形を「認可外保育施設」によって実践。飯田ならではの子育ての形を実現し、長野県が推進する「信州型自然保育認定制度」の「特化型」の認定を得る予定。

**(2) 特別賞** 築 150 年の元庄屋を活用したカフェ「九如亭」と建物維持保存（宮井啓江さん）

慶応年間建築の本棟造りの自宅「九如亭」を、「リニア時代の飯田の迎賓館」として維持保存・活用する事業。カフェによる事業収益を、絵画・音楽など市内外の芸術家の活動の交流空間の創出及び地域の貴重な伝統的建造物の維持保存に充てる高付加価値型の事業モデルを創出する。

**(3) 奨励賞** 古家と家守のマッチング事業～つなぐハウス～（OIDE 長姫高校 2 年/鎌倉朋也さん）

所属高校の生徒サークルと地元企業で有限責任事業組合を設立し、空家を改修して若者や小規模起業家が活用できる空間を提供。ゲストハウスやシェアハウス事業も展開。空家所有者と、「アイデアはあるが場所がない」利用希望者（家守）とのマッチングも行い、収益を上げつつ、起業家支援や地域活性化に貢献する。